

令和8年8月5日

青森県教育委員会第931回定例会

期 日 令和8年8月5日（水）
場 所 教育庁教育委員会室

会 議 次 第

1 開 会

2 報 告

- 報告第1号 令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について … 1

3 議 案

- 議案第1号 青森県公立中学校における部活動の地域展開推進計画
（第2版）について …………… 3
- 議案第2号 青森県立高等学校魅力づくり推進計画前期実施計画
（先行版）【学校・学科等の魅力づくり】（案）について
…………… 4
- 議案第3号 県立特別支援学校の校名変更について …………… 5

4 その他

- 新たな県立博物館の整備場所候補地について …………… 6

5 閉 会

報告第 1 号

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果について

調査結果の取扱いについて

文部科学省は実施要領の中で、「調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」としており、本県も同様の考えで取り扱う。また、文部科学省は、「細かい桁における微少な差異は学力面で実質的な違いを示すものではないと考えられる」としていることから、本県も同様の考えとする。

1 本県における調査結果から

(1) 教科に関する調査結果概況

①公立小・中学校及び義務教育学校の国語、算数・数学の平均正答数及び平均正答率は、ほぼ全国と同等。中学校英語 3 技能（「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」）の平均 I R T スコアは、全国を下回ったものの、ほぼ全国と同等。「話すこと」を含めた 4 技能の平均 I R T スコアは、今秋に公表される予定。

②分布についても、公立小・中学校及び義務教育学校の国語、算数・数学は、ほぼ全国と同等。中学校英語 3 技能（「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」）の I R T バンドは、全国と比べて 2 の割合が多く、4 及び 5 の割合が少ない分布。

(2) 児童・生徒質問調査（調査結果チャートより）

①〔教科を中心とした学力・学習状況〕

小学校では「国語の学習活動」、中学校では「数学に関する意識」の領域が、特に全国より高い状況にある。

②〔その他の学力・学習状況〕

小・中学校ともに、「主体的・対話的で深い学び」の領域が、全国より高く、小学校では「学びの自己調整」、中学校では「向社会性」の領域が、特に全国より高い状況にある。

2 本県のこどもたちのウェルビーイングの状況

本県の教育施策の大綱にも掲載されているこどものウェルビーイングに関する状況は、昨年度に続き、概ね全国平均を上回る良好な状態にあり、学びに対する前向きな姿勢の表れであると捉えている。

3 今後の予定

- (1) 今秋に文部科学省から提供されるデータと併せて、さらに詳細な分析を実施（8～9月下旬）
- (2) 各学校での指導の改善に資する指導例を作成し、県教育委員会ホームページに掲載（11月中旬）

議案第 1 号

青森県公立中学校における部活動の地域展開推進計画〔第 2 版〕 について

文部科学省が令和 7 年 1 2 月に策定した「学校部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を踏まえ、青森県が令和 5 年 4 月に策定した推進計画を見直し、別紙「青森県公立中学校における部活動の地域展開推進計画」〔第 2 版〕のとおり改訂する。

議案第2号

青森県立高等学校魅力づくり推進計画前期実施計画（先行版） 【学校・学科等の魅力づくり】（案）について

1 前期実施計画に係る検討

前回の教育委員会定例会では、

- ・学校配置について県民から意見を伺いながら検討を進める必要があるという意見
- ・各地区の学校配置の公表を延期できないかという意見

等があり、改めて検討した結果、前期実施計画のうち、学校・学科等の魅力づくりに関することについて先行して整理し、学校配置については、地域等との対話を通じて県民の理解を得ながら検討を進めることとした。

これに伴い、令和8年度においては前期実施計画の一部を「前期実施計画（先行版）【学校・学科等の魅力づくり】」（以下「先行版」という。）として策定することとし、この度、案を取りまとめた。

なお、令和9年度においては、学校・学科等の魅力づくりと学校配置を一体的に示す前期実施計画を策定する。

2 先行版（案）の内容

別紙資料1のとおり（※概要版は別紙資料2のとおり）

3 今後のスケジュール

＜令和8年度＞

8月 5日（水）	先行版（案）の公表	} 別紙資料3
8月 6日（木）～9月 4日（金）	パブリック・コメントの実施	
8月27日（木）～9月14日（月）	地区懇談会の開催	
8月 5日（水）～8月25日（火）	学校の在り方地区検討委員会委員への意見照会	
10月頃	先行版の策定	
11月～	地区懇談会の開催〔学校配置について〕	

＜令和9年度＞

前期実施計画（案）の公表



パブリック・コメントの実施

地区懇談会の開催

〔前期実施計画（案）に係る学校配置等について〕

前期実施計画の策定

議案第 3 号

県立特別支援学校の校名変更について

県立特別支援学校の校名を以下のとおり変更することとする。

1 現校名及び新校名

現校名	新校名
青森県立青森若葉養護学校	青森県立青森わかば支援学校

2 変更の時期

令和 9 年 4 月 1 日

3 その他

当該県立特別支援学校の校名については、青森県立学校設置条例の一部を改正する条例案の議決により変更するものである。

[その他]

新たな県立博物館の整備場所候補地について

1 経緯

青森県立郷土館は、耐震性能不足により令和2年10月から休館しており、昨年度には青森県立郷土館整備検討会議を設置するなど、新たな県立博物館の整備に向けた取組を進めてきた。

青森県立郷土館整備検討会議からの報告書では、新たな県立博物館の整備場所候補地の基本的な考え方が示されており、これらの考え方等を踏まえ、次のとおり整備場所候補地を選定した。

2 検討結果

弘前市しもしろがねちょう下白銀町おうてもんひろばの追手門広場を整備場所候補地として選定する。

【選定理由】

県立郷土館整備検討会議報告書により整理された新たな県立博物館の整備場所候補地の3つの基本的な考え方の全てを満たしている。

考え方	評価
洪水、土砂災害、津波等の災害リスクが低い	・防災マップの浸水・土砂災害に該当するエリアではない
県民が日常的に行きやすい	・弘前市は津軽圏域35万人の中心都市 ・鉄道や高速道路ICがあり他圏域からも行きやすい ・県民が愛着を持つ弘前公園に隣接
県外からの観光客が訪れやすい	・近隣に弘前公園を中心とした観光施設が集中 ・周辺観光施設の延べ入込客数が200万人を超える県内トップクラスの観光地

更に、

- ・弘前市は藩政時代から弘前藩の城下町として発展し、弘前城、桜、りんごなどで知られている県内有数の自然・歴史・文化が豊かな都市であること
- ・博物館の調査研究において、弘前市や近隣の国立大学等との連携が期待できること

・弘前公園・追手門広場は県内でも屈指の『人が集まるエリア』となっており、多数の県民・観光客の来館が期待できること

以上のことを総合的に勘案した。

なお、弘前市において、追手門広場の再編に向けた検討を進めていくこととしており、県の博物館整備と市の施設整備を一体的に行い、相互に連携することで新たな街づくり拠点の形成、相乗効果でのにぎわい創出等が期待できる。

3 今後について

県教育委員会では、新たな県立博物館がふるさとをつなぎ未来をつくるミュージアムとして県民に長く愛される施設となるよう、弘前市と連携しながら整備に向けた検討を進めていく。